

グループホーム 倫尚園

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		家庭に近い環境の中で日々の生活が保っている様に配慮し、入居者一人一人を大切にしたい理念を提示している。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		職員は理念を把握し、意識するように心掛けている。月一回の勉強会で困難事例等を検討し、日々実現に向けて取り組んでいる。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		見学者、入居申込者の方々に随時、説明を行い、配布している。家族面会時、運営推進会議等にも話をし、理解を得るように努めている。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		地域の行事への参加はもとより地域の方々より収穫した野菜や生け花等を持って訪れる等気軽に来園できる雰囲気作りに努めている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域のお祭り等に参加したり、地域の方々に行事の参加を呼び掛けたりしている。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所として通所型介護予防事業を市からの委託により実施。地域に貢献できるように取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果報告を職員全体が把握し、一人一人が日々介護に取り組む姿勢を振り返りグループホームの改善について研鑽している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームの行事、慰問等、個々の入居者へのサービスの内容の説明、個別ケアの経過、入居者の感想等を報告し、それに対し、地域の方からの意見を取り入れサービスの向上を計っている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護サービス相談員派遣事業や認知症に関する研修等に参加し、サービスの向上に取り組んでいる。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については法人内や外部での研修に参加し学ぶ機会を多く持つようになっている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内研修グループホームの勉強会等に於いて高齢者虐待防止関連法について常に勉強を行い、虐待防止の徹底を図っている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には書面に沿って十分に納得される様に説明をし、質疑をしている。苦情に関する申し立てもフローチャートに沿って説明をし、納得いかない時は介護保険課や国保連への申し立てもできることも説明している。</p>		<p>認知症の進行や体力の低下に伴う住み替えについてご家族と一緒に十分検討し、支援している。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人として月一回オンブズパーソン、介護サービス相談員派遣事業の日程のポスターを提示して外部者へも意見を表せる様にしている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に広報誌を発行し、ホーム内の行事活動、暮らしぶりを紹介している。また、面会時には身体・生活状況の報告、金銭管理については出納帳の確認をしていただき、サインをもらっている。面会がない方には文章や電話で出納帳はコピーを郵送しサインを頂いている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に、その都度声をかけて話を聞いたり、相談に乗ったりして家族の意見等を取り入れている。職員には申し送り簿や勉強会に報告し、改善に向けて話し合ってる。苦情に関しては玄関にフローチャートを設置し外部者へ表せるようにしている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>年度当初、全職員に対し運営方針を説明している。また、運営に関し、大きな変更等がある場合は職員に対し説明し、意見を聞いている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者の生活状況に合わせて6パターンのローテーションを組み柔軟な対応をしている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>昨年度までは離職者が多くみられたが、今は落ち着いている。ベテラン職員、新人職員との組み合わせ等により、利用者のダメージを最小限度にしている。</p>		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>募集採用について法人事務局で行っているが、現場の意見を聞いてもらっている。勤務表については現場スタッフと協力をしながら行っている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>法人内研修等に参加し学ぶ機会を設けている。また、勉強会等で人権について話し合うようにしている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内で様々な研修を実施している。また、可能であれば外部の研修も受講するようにしている。外部のグループホームの方々と合同勉強会や自己学習の機会をつくるようにしている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部のグループホームの方々と合同勉強会を企画したり、意見交換をして質の向上に努めている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の悩みや困ったことなどを聞いたり、法人内他の事業所の職員との交流(例えば、バドミントンやボーリング)などを行うようにしている。</p>		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の勤務状態や成績を把握しながら良い事は褒めて、自信を持たせるようにしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の相談、面接時に本人の不安や思いを情報収集シートに基づいて把握するようにしている。入居後は早期に信頼関係を築くように努めている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	個人情報に配慮し、不快な気持ちにならないように、担当者が情報収集シートに基づいて家族の思い出を聞くようにしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他機関、居宅事業、他グループホーム等との連絡調整を図りながら入居者、家族の要望に対応するように努めている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	随時、見学・体験して頂ける体制を取り、その都度、家族等と相談しながら、できる限り安心した生活環境作りに取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	暮らしのパートナーとして、本人の思いを知り、お互い学び、支え合う関係作りに努め、取り組んでいる。生活の知恵を学び(野菜作り、床漬け等)それを入居者と実践している。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者と家族が共に支え合える状況作りを支援している。家族の協力も徐々に増えてきている。(受診、行事の参加、外出援助)		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	個々の生活歴や家族関係に配慮しながら面会、外出、外泊、行事参加の依頼を行い実施している。面会時、近況報告を伝え、入居者と家族との関係作りに努めている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、元隣人とのカラオケスナックでの交流、併設の特養・養護に入居中のご主人、知人等馴染みの方に会いに行く機会を設けている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	茶会、食事会の際は職員が間に入り、入居者同志の会話の援助を行い、会話の継続がスムーズに行えるよう努めている。また、気の合う入居者同志の関係、座席にも配慮している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に住み替え、長期入院のため退居となった入居者の方でも面会に行ったり、見舞いに行くように努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に御家族へ生活チャートの記入を依頼したりフェースシートにより個々の思いや意向の把握に努めている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のご本人、家族、現施設等の関係者から聞き取りを行い、入居者の方の日常生活、また生活歴を把握するように心掛けている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者、家族から意向を聞き取り、日々の生活リズムを把握、一人一人の残存機能を生かした生活が提供できるように努めている。		一人一人のできる事を活かしてできる事を増やし、支援に努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の希望を訊ね、また身近な介護職員の意見を反映させながら入居者本位、自立に向けてのサービス計画の作成に努めている。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	認定更新時の見直し、新規入所時の暫定計画、二か月に一回のモニタリング、半年に一回のカンファレンス等で見直しを行っている。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の観察、記録は生活支援に記入している。勤務前には情報を共有し介護に反映するように努めている。また、発熱や排泄等に問題がある方は個別に観察、表を作成し活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診、外出、ショッピング等、利用者や家族の状況に応じて臨機応変に対応し、支援に努めている。また、施設の看護師の協力を得て対応も行っている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	当事業所に於いて地域の方々と一緒に交通教室の開催に参加、また避難訓練を行う際には消防署の協力を得て訓練を行っている。運営推進会議にて意見交換を行っている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣の商店の協力を得ての出張販売、訪問理美容等の利用支援をしている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に於いては地域包括支援センターの職員に参加をいただいている。		今後、運営推進会議で包括支援センターの方のより多くの意見をいただきながら質の向上に努めていきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望を確認し受診、また往診を依頼している。家族同伴の受診時は情報提供を行い、職員同伴の受往診後は家族に結果報告している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科医師に受診時助言を得ている。専門医ではない医師にも受診時等、相談し助言や治療を受けられる体制をとっている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームに看護師はいないが併設の特養・養護の看護師にいつでも相談・助言いただける体制が整っている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院時には病院に情報提供し、家族病院関係者と情報交換しながら可能な限り、早期退院できるよう対応を行っている。		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化に伴い、在宅医療(往診)を活用し体制を整えていて、またかかりつけ医や家族・本人と相談して今後の方針を話し合い支援していけるように努めている。週末期の方針はなく、対応は困難である。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	週末期での対応は実施できていないが重度の方へのグループホームでの生活が可能な限り継続できるよう支援に取り組んでいる。		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	グループホームから病院以外による別の入居へ移り住む際はプライバシーに十分配慮して情報の提供を行い、入居者のダメージを最小限に努めている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人として人格を尊重し、プライバシーを保護し、言葉かけ、対応に配慮を行っている。		毎日のケアを振り返り、職員間でのケアの確認、検討をしプライバシーの確保に努める。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活、会話を十分する中で自己決定できる時間をとるよう努めている。自己決定が難しい方には日々の暮らし本人の好み等配慮し支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、入居者が満足されているかどうか解らないが個々のニーズに沿って一人一人のペースに合わせた生活支援に努めている。(例 外食・ドライブ・ショッピング・外泊等)		御家族にも協力を得ながら、外食する機会も増やしていきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるよう努めている	衣類についてご本人でできるだけ選んで頂くが選ぶ事が出来ない方はその人にあったものを選びおしゃれを支援する。散髪は髪型・長さ・パーマ等御本人の希望に応じ対応している。		理美容について希望・馴染み店があれば連れて行ければ支援を行っていきたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理盛りつけ、片付け等、利用者と職員が一緒に行っている。畑でできた作物を利用者と一緒に収穫しおやつ作りに活かしている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者の嗜好を理解し、対応している。ご家族からの持ち込みもあり、ご希望に合わせて提供し喜ばれている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿チェック表を作成して排尿間隔を把握し、本人のプライドや羞恥心に気を配って声掛けを行い失敗されないよう支援する。		個々の能力を活かし、紙パンツから布パンツへの移行、今後はオムツ外しに取り組んでいきたい。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者が重度化して自己決定困難な方が増え、また清潔保持を維持する為にも曜日は決めている。しかし、その中で自己決定ができる方には気の合う人同士好きな時間等、無理強いせずご本人の希望に沿うよう努めている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は離床し、適度な活動を促しており、一人一人の生活習慣や個々のスペースに合わせて眠れるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者、家族から家庭で過ごされた趣味、特技を基に台所仕事、ショッピング、草とり、散歩、歌等張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援をしている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	重度化して自己決定が困難な方が増えた為、自己決定ができる方のみ所持して頂き、自分の好きな物を使える支援をしている。出納帳に記入し、個々に支援を行っている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じてドライブや買い物、茶会等を支援しているが身体的に重度化している為、全員は支援できていない。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日帰り旅行や外出には家族等に案内状を出し他入居者や家族と共に外出する機会を設けている。		今後は、年間行事の中に誕生月の方々へのサービスとして御本人、家族が希望される場所への外出支援に取り組んでいきたい。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	複合施設として2階に公衆電話もあり、いつでもかけられるように対応してる。家族等からの電話の取り次ぎ、手紙が届いた際の支援を行っている。		入居者に返信の手紙を出していただけるように支援を行っていく。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問された方が入居者とゆっくりと過ごせるように談話コーナー、座敷等の場や飲み物等を提供し、ゆったりできるように配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については法人内研修を行い、職員が共通の認識を図っている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室にカギはついているが、入居者が内部からカギをかける以外、かける事はない。その他の出入口については自由に出入りが可能。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に入居者の所在の確認を行いながら入居者と同じ空間で記録を記入しながら見守りを行う事もあり、その際はプライバシーに配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や刃物(包丁)はシンクの下に保管するように取り決め、使用する際は職員と一緒にしている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個別の事故予測と予防策を作成し、職員が把握し状態に応じた事故防止に取り組んでいる。		事故防止や対応に関しては研修、勉強会等で検討する機会を多く持ち意識をより高めていこう取り組んでいる。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年1回全職員が救命講習を受講している。緊急時対応にマニュアルに従って対応する様にしている。グループホームに看護師はいなちが併設の特養・養護の看護師にいつでも相談、助言頂ける体制が整っている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	複合施設として定期的に避難訓練を実施している。地域の方の協力も得て訓練を実施することもある。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会、電話、広報誌等、日ごろの様子を伝え、面会時には入居者の様子を見て頂きながら家族の方にリスクと対応策を活用している。契約者等にも示しているが「その人らしい」を大切にリスクは必ずある事を同意を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、検温1/w血圧を測定しているが、日々入居者の表情、顔色、動きの観察等、気づいた事は申し送り簿に記入し、職員間で情報を共有できるよう努めている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能や副作用、用法、用量について薬局からもらう薬の説明書で把握している。服用の際、異変があった場合、担当医に連絡し指示を仰ぐ。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材については栄養士に任せている。水分は多めに摂っていただいたり、散歩・体操等で体を動かしていただいている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、必ず口腔ケアを行っていただき、出来ない方については付き添い、援助を行っている。(一人一人の能力に合った口腔清潔)		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じた形で刻み、全粥にしたり好き嫌いのある方は一品より提供したり好きなものと混ぜてみたり容器を軽いものにしてみたり全量摂取を目指し工夫をしている。水分については水分チェック表を記録し、目標とする水分量を提供している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人で作成されたマニュアルがあり、感染症があった場合それに沿って行っている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	複合施設の為、食材は厨房にて管理している。台所、調理用具等の衛生管理については栄養士の指導の上、毎日行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花、写真を飾ったり、熱帯魚や亀等の生き物を飼ったり、親しみを持ってもらえるようにしている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設を感じさせず、暖かい家庭的な雰囲気作りを心がけている。季節に応じたの飾り付け、行事、誕生月等の写真の掲示を行っている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、談話、座敷等で利用者同士で語り合ったりグループ活動を行ったり、居室では一人で落ち着ける雰囲気作り、居心地の良い環境を整えている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家庭で過ごしておられた住み慣れた環境に合わせ、今まで使用されていたタンス、仏壇、写真、飾り物等を置いている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床時、気になるにおい、冬は2/日乾燥を防ぐ為、クーリングタイム等を行い窓を開放する。また、冷暖房を使用している時は外気構との差に配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室、座敷の段差には手すりが設置されており、居室内一人一人の状態に応じてポータブルトイレ、安全バー等できるだけ御本人でできるような環境作りに努めている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室のわからない方には表札を作ったり、トイレには漢字でわかりやすく大きく「便所」と表示し、混乱を防ぐ工夫をしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	広い庭での散歩、日光浴、東屋に座って談話したり、夏はご家族と一緒にバーベキューも行っている。		

グループホーム 倫尚園

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 倫尚園

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・身体、認知的な重度化に対して、よりその人らしさの生活が継続できるよう個別対応に取り組み、介護の統一を図り実践できるよう支援している。
- ・6パターンと多様なローテーションを組み、入居者のニーズに合った柔軟な対応ができるように実践している。
- ・複合施設としての特色を活かし、多様な行事、また他セクションの方々との交流、生活歴を活かした農作業等に取り組んでいる。